

フランス文化論Ⅰ

科目ナンバリング ARS-107
選択 2単位

工藤 則光

1. 授業の概要(ねらい)

「フランスの社会と文化Ⅰ・Ⅱ」では、1年間を通じて広くフランスの社会と文化について講義する。フランスの地理などの風土論から始めて、現在フランスで問題となっている社会問題なども含めて取り扱うが、春期のⅠでは特に秋期Ⅱで展開される各論のための基礎知識などについて取り上げる。また、フランスに興味を持ってもらうきっかけとしてフランス語についても講義する。

2. 授業の到達目標

- ①フランスについて広く知識を獲得する。
- ②フランス側から日本をみるとどう説明できるのか、その基礎知識を獲得する。

3. 成績評価の方法および基準

- ①受講者数にもよるが、授業への積極的参加度・小レポート・小テストなど30%、期末テスト70%で評価する。
- ②小レポートは基本的に授業中のリアクション・ペーパー(原則毎回実施)のことである。
- ③履修者数などによって、期末テストは定期試験期間に行うこともある。

4. 教科書・参考文献

教科書

使用しない。

参考文献

※この分野の著作は多数あるので、適宜参考文献を紹介する。

5. 準備学修の内容

事前に学習内容についてのプリントを配布するのでよく読むこと。また、授業内容の理解を深めることができる教材を紹介するので、事前に読んだり、見たりするとよい。さらに、現在の日本や世界で起きていることに関心を持つこと。最低限、日に1回はニュースをチェックして動向なりを押さえておくこと。この授業で取り上げた内容との意外な接点に驚くこともあるだろう。

6. その他履修上の注意事項

多少語学面での努力も求めるので、復習もよくすること。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション:①授業の進め方・評価方法などについて ②授業のアウトライン
- 【第2回】 はじめに:文化と文明
Ⅰ.フランスの風土:①地理、気候など
- 【第3回】 Ⅰ.フランスの風土:②地方自治体、人口など
- 【第4回】 Ⅱ.フランスの歴史:①フランス革命までの「記憶の場」
- 【第5回】 Ⅱ.フランスの歴史:②フランス革命とナポレオン統治期の「記憶の場」
- 【第6回】 Ⅱ.フランスの歴史:③現在までの「記憶の場」
- 【第7回】 Ⅱ.フランスの歴史:④海外県・海外領土について
- 【第8回】 Ⅲ.フランスの言語:①語族など
- 【第9回】 Ⅲ.フランスの言語:②フランス語
- 【第10回】 Ⅲ.フランスの言語:③ことわざや名言など
- 【第11回】 Ⅳ.フランスの教育①:公教育
- 【第12回】 Ⅳ.フランスの教育②:バカロレア
- 【第13回】 まとめとテスト